メーカー名：㈱加藤製作所　　令和8年度（公社）建設荷役車両安全技術協会　不整地運搬車

適用範囲		モデル名		IC100-5
		適用号機		CB005501-
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度 ハイアイドリング ローアイドリング (冷却水温) (作動油温)	 min^{-1} min^{-1} (℃) (℃)	 2400 800
		弁すき間 吸気弁 隙間 排気弁 隙間 (測定条件)	 mm mm (℃)	 0.254 0.508
		圧縮圧力又は気筒間圧縮圧力差 MPaとkgf/cm2の両方で表記 (冷却水温) (回転速度)	MPa kg/cm2 (℃) (rpm)	
	燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射開始圧力	MPa kg/cm2	コモンレール
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件] kgとNの両方で表記	mm (kg) N	オートテンショナー
動力伝達装置	クラッチ 駆動用ベルト	クラッチの遊び 駆動ベルトの張り	mm たわみ量 mm	−
	クラッチペダル又はインチングペダル	ペダルの遊び取り付け高さ ペダルの遊びとストローク ペダルの全ストローク	mm mm mm	−
走行装置 (別名クローラーベルト)	走行性能	最高速度　ゴム	秒/６m	1.8±0.4
	履帯 (クローラベルト)	ゴムベルト　張り (たわみ量) [測定方法・条件(図面番号表示)]	mm	20~30mm 別紙参照
走行装置 (ホイール式に限る)	タイヤ空気圧　タイヤ（ホイールを含む）	フロント	kPa (kgf/cm^2)	
		リヤ	kPa (kgf/cm^2)	
制動装置	走行ブレーキ	ペダルの遊び	mm	−
		踏み残り代	mm	−
		制動能力 [制動初速度]	m以内 km/h	
	駐車ブレーキ	停止可能勾配 [負荷状態]		15°
油圧装置	シリンダ自然伸縮 (自然沈下量)	ダンプシリンダ 作業装置姿勢 (測定時間) (作動油温)	mm min (℃)	15以下 縮み量 10 (50±5)
	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力 性能測定条件 (設定モード等)	MPa kgf/cm2	40.5±0.5 ハイアイドル 別紙参照

メーカー名：㈱加藤製作所

項目	測定方法
油圧回路設定圧力	■測定方法 1. 運転画面①であることを確認し右から 2 つ目の ≡ボタン②を 1 回押します。 2. 画面が機械情報表示画面③に切り替わったことを確認します。 3. 1 で押したのと同じ右から 2 つ目の ► ボタン④を 5 回押します。 4. 機械情報表示画面が AI Monitor2⑤に切り替わったのを確認します。 5. スプロケットとシューの間に鉄棒を噛ませ走行をロックしてください。パーキングブレーキを掛けてください。作業中は解除しないでください。 6. エンジンを始動し、圧力測定したい方向へジョイスティックを操作します。圧力をモニタで確認します。 7. 圧力が許容値の範囲にない場合は、「B3.1 油圧ポンプ (P1・P2) 分解・組立」の P187「調整」を参考に調整してください。調整時は必ず荷台セーフティバーを使用してください。 8. 測定が完了したら、画面⑤の左から 1 つ目の ↶ ボタン⑥を押し運転画面に戻ります。 9. エンジンを停止します。  ⚠ 危険 調整作業中は絶対走行しないように安全に注意してください。 1. スプロケットとシューの間に鉄棒を噛ませ走行をロックします。 2. パーキングスイッチの P 側を押しパーキングブレーキを掛けてください。作業中は絶対に解除しないでください。 3. エンジンを始動し、走行レバーを操作し、走行が確実にロックしていることを確認してください。

メーカー名：㈱加藤製作所

項目	測定方法
クローラベルト測定方法	**ゴムクローラ張りの点検** 1. キャリアを平坦で堅い地盤においてください。 2. アイドラタンブラ (1) とアッパーローラ (2) のゴムクローラ上に、長さが約 1.5 m の角材を渡し、人 (60 kg) を中央部に乗せた時の隙間を点検してください。 隙間 (a) は 20 mm ～ 30 mm が適性の張りです。 